

## 防災気象情報の満足度に関する調査報告書（要旨）

### （目的等）

- 1．災害軽減のために作成・提供している「防災気象情報」について、その改善に資する情報を抽出することを目的として、利用者である防災関係機関等（一部地域の住民を含む。）における防災気象情報の評価（満足度）を把握する。

### （調査の概要）

- 2．平成 14 年 2 月から 3 月にかけて、防災関係機関（都道府県、市区町村、ライフライン、報道機関に区分）と住民に対して、アンケート（質問紙郵送法）により、大雨警報、台風情報、地震情報、津波予報・情報、東海地震に関する情報、火山情報、及び気象統計情報の各情報に対して、総合的な評価（満足度）とともに、その内容（精度、わかりやすさなど）、気象台の対応等の評価項目ごとに満足度・重視度等を調査した。  
それぞれ 2,500 以上の防災関係機関、600 名近い住民から回答があった（回収率は約 65%）。

### （調査・分析結果）

#### 3．情報ごとの総合満足度

全般に全ての情報で評価（満足度）が高い。防災関係機関と住民では、情報ごとの総合満足度の傾向は類似しているが、全般に住民がやや厳しい評価（低い満足度）となっている。

防災関係機関、住民ともに最も評価（満足度）が高いのは地震情報であり、最も評価の低い情報は、防災関係機関では大雨警報、住民では東海地震に関する情報である。

防災関係機関の結果は回答数の 9 割近くを占める市区町村の意識を反映しているが、防災関係機関の区分別に総合満足度をみると、全般に都道府県の満足度が高く、報道の満足度が低い。また、評価（満足度）の低い報道と住民では、各情報に対する評価が似たパターンを示す。

#### 4．各情報の評価項目別にみた満足度、改善要求度などの特徴

##### 大雨警報

防災関係機関では、全般に警報の発表地域と解除のタイミングに対する不満度が高く、これらの項目と予測精度、発表タイミングに対する改善要求度が高い。また、報道では、警報や情報の内容のわかりやすさに対する改善要求が特に高い。

##### 台風情報

全般に台風の予報精度、予報期間に対する改善要求は高く、自治体では発表の頻度・タイミング、報道では情報内容や解説のわかりやすさの改善要求が高い。

##### 地震情報

全般に重視度の高い項目に対して評価（満足度）も高く、また、利用者ごとに重視度・満足度が似ている。市町村震度の発表・入手までの時間、気象台の解説などへの改善要求が高い。

##### 津波予報・情報

都道府県では予報の迅速化、報道では予報精度と内容のわかりやすさへの改善要求が高い。

##### 東海地震に関する情報

情報の認知度が低い。報道、住民において極端に満足度が低い。全般に、内容のわかりやすさ、解説の専門性とわかりやすさへの改善要求が高い。

##### 火山情報

全般に内容の理解しやすさ、解説の専門性とわかりやすさへの改善要求が高い。

##### 気象統計情報

利用経験のある機関は 4 分の 1 と少ない。公表の時期、利用しやすさへの不満が目立つ。